

越境する情報とメディア

～「T.K生」の時代と「今」を語る～

1970年代～80年代にかけて「T.K生」として総合雑誌『世界』における「韓国からの通信」を16年間書き続け、韓国の民主化運動を世界に発信していた池明観先生をお招きし、越境する情報とメディアの今日における意味を皆さんとともに考えたいと思います。



2015年7月10日(金)
午後 3時～5時
東京大学本郷キャンパス
東洋文化研究所3F大会議室

入場無料・事前登録不要

【講演者紹介】

池明観(チ・ミョングァン)

1924年平安北道(現・北朝鮮)生まれ。東京女子大学で教鞭をとりながら、韓国内の民主化勢力、日本の市民運動と連携し、「T.K生」の筆名で月刊誌『世界』に「韓国からの通信」を書き続けた。元KBS理事長、元翰林大学翰林科学院教授・日本学研究所所長。

東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)」

主催:「情報・メディア」ユニット／「移動・境界」ユニット

共催:「格差・人権」ユニット／「東アジア」ユニット

注意:写真・映像・音声等を記録することとその記録されたものをプログラム活動で使用する可能性があることをご了承いただいた上でご参加ください。